

第32回西多摩地域広域行政圏体育大会

スポーツ

子どもからシニアまで！障がいの有無にかかわらず、誰でも楽しく体験できる！

フェスタ

参加無料
申込不要
室内履きを
ご持参ください。

2023年11月18日(土)

10時から15時まで

スタンプ
ラリー
8種目すべてに
挑戦して

各市町村の特産品を
ゲットしよう!!

障がい者の方もすべての
種目を体験できます。

会場：S&Dスポーツアリーナ羽村(羽村市スポーツセンター)

体験種目



青梅市



キンボール

福生市



ドッチビー

羽村市



モルック

あきる野市



ペタンク

日の出町



ラダーゲッター

檜原村



スポーツ輪投げ

奥多摩町



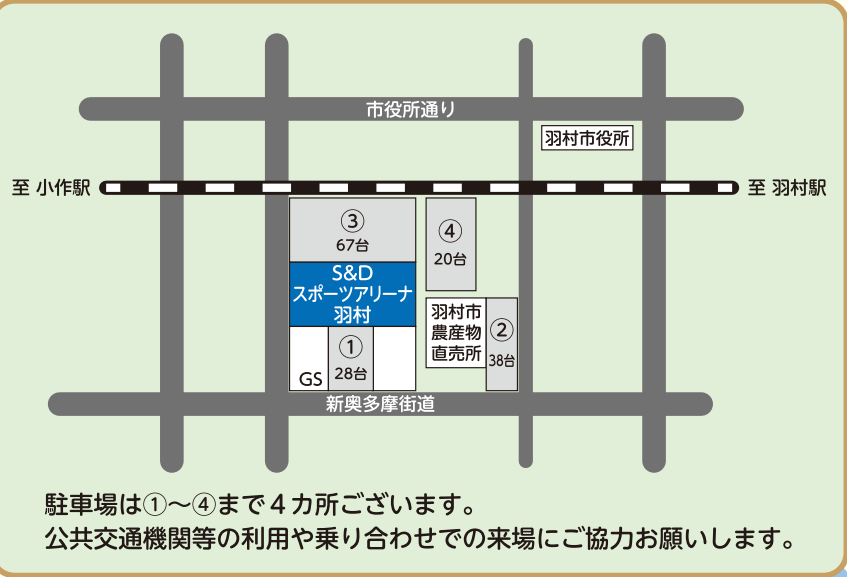
ボッチャ

東京2020レガシー



(羽村市出身の菊島選手も出演)

ブラインドサッカー



主催：第32回西多摩地域広域行政圏体育大会実行委員会

後援：東京都

主管：第32回西多摩地域広域行政圏体育大会実行委員会事務局

(瑞穂町教育委員会教育部社会教育課) 電話042-557-7071 (スポーツ推進係)

スポーツフェスタ

体験種目のご紹介

1 キンボール

直径122cm（重さはわずか約1kg）という大きなボールを使い、4人1組で構成された3チームが「サブ」や「レシーブ」を繰り返して得点を競う新しいゲームです。ボールの滞空時間をうまく読むのがポイントになります。



2 ドッチビー

柔らかくて軽い布でできた円盤を投げて、様々な競技を行うことができます。会場では「的当て」に挑戦します。



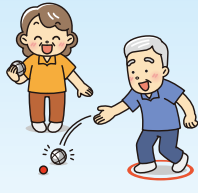
3 モルック

フィンランド発祥のスポーツ。モルックと呼ばれる木製の棒を投げて、スキットルと呼ばれるピンを倒し点数を競うというシンプルなスポーツなので、大人も子どもと一緒にモルックを楽しめます。



4 ペタンク

地面に描いたサークル（35cmから50cm）から目標球（ビュット）にボール（ブル）を投げて得点を競う、体力を必要としないため小学生から高齢者まで、コミュニケーションをとりながら気軽に楽しめるスポーツです。会場では室内用ソフト球で行います。



5 ラダーゲッター

ラダーゲッターは、ヒモでつながっている2個のボールをラダー（ハシゴ）に向かって投げ、ボールがラダーに引っ掛かる（ハングする）と、表示されている数字が得点となる三世交代も可能なスポーツ・レクリエーションです。



6 スポーツ輪投げ

幼いころ、誰もが楽しんだ“輪投げ”。実は、この輪投げにも正しい得点方法があり、奥の深いスポーツなのです。公式ワナゲは、リング（輪）が目標に入らなくてもリングの一部がベース（得点盤）内であれば得点となり、ルールも簡単なので子どもから高齢者まで、誰でも同じように無理なく安全に楽しむことができます。



7 ボッチャ

重度脳性麻痺者もしくは同程度の四肢重度機能障がいをお持ちの方のために考案されたスポーツで、パラリンピックの正式種目にもなっています。ジャックボール（目標球）と呼ばれる白いボールに、赤・青のそれぞれ6球ずつのカラーボールを投げたり転がしたり、他のボールに当てたりして、いかに近づけるかを競います。



8 ブラインドサッカー®

いわゆる「見えないサッカー」。アイマスクを付けた4人のフィールドプレーヤーが、見えているキーパー、相手ゴール後ろのガイドと協力しながらプレーします。感覚を研ぎ澄ませ、転がると音になるボールの音を聞きながら仲間と声を掛け合い、ゴールを目指すサッカー。会場では、アイマスクを付けてのパスやシュート体験・的当てゲームに挑戦します。



・菊島 宙（きくしま そら）選手 2002年生まれ、東京都羽村市出身。ブラインドサッカー女子日本代表強化指定選手。先天性神経障がいと先天性黄斑低形成の合併症により両眼が弱視（眼鏡やコンタクトレンズで視力矯正ができない）。2022年のアジア・オセアニア選手権では優勝、得点を量産し最優秀選手賞を獲得。また、2023年7月に開設された男女混成国内トップリーグ「LIGA.i」では、埼玉T.Wingsで見事初代王者に輝き、得点王と最優秀選手賞を獲得した。

スタンプラリー

参加券

8種目すべてに挑戦して
各市町村の特産品をゲットしよう!!

各体験ブースでスタンプを押してもらおう



| | | | |
|-------|---|----|-----|
| 参加者氏名 | | | |
| 年齢 | 歳 | 性別 | 男・女 |
| 住所 | 青梅市・福生市・あきる野市・羽村市 瑞穂町・日の出町・檜原村・奥多摩町 他の市町村 | | |

●取得した個人情報、抽選以外には使用いたしません。